南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
平成３１年１月号
担当（山田）
NO.75

イノシシ年

新しい年2019年が明けました。
「南山っ子通信」のご愛読，いつもありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

「干支を自由に選べるとしたら何年になりたいか？」

という2018年に実施されたある調査によると，男性は辰年，女性は圧倒的に卯年が１位だったという統計があるそうです。龍はかっこいいし，ウサギはかわいいからというのが主な理由のようでした。

それでは，今年の干支イノシシはというと，特に女性には不人気のようで最下位から２番目，男女全体でも下から３番目だったようです。かっこいい，かわいいからは程遠く，「猪突猛進」といわれる言葉からまわりのことを考えずに自分の思うままに突っ走るという悪い印象をもたれているのかもしれません。

ところで，イノシシを干支にしているのは日本ぐらいのもので，お隣の韓国でも中国でもディエム神父様の母国ベトナムでも十二支の最後はイノシシではなく豚となっており，干支の文化が存在する国では，それが一般的なようです。日本が干支として豚を用いないのは，干支が伝来した奈良時代以前には家畜として豚を飼育する習慣が日本にはなく，獲物として山林にいるイノシシの方が身近に感じられたためだろうといわれているようです。

３学期の始業式のときのディエム神父様のお話によると，ベトナムで最も人気のある干支は，日本とは全く反対の豚年なんだそうです。「豚年に赤ちゃんを生みたい」という国民も多く，実際に他の年に比べて豚年の出生率が高いのもベトナムでは事実のようです。「よく食べる，よく寝るという豚のイメージから楽な人生が送れるという印象が豚年にはあるのだ」とディエム神父様は話しておられました。

神父様は，お話の最後に，

「日本では，今，農作物を食い荒らしたり街中に現れて人を襲ったりするイノシシの被害がよくテレビで報道されていますね。それで，いろんな罠をかけてイノシシを捕まえようとしています。みなさんの中にはイノシシ年生まれの人もいるでしょう。イノシシ年生まれの人たちは，罠にかからないように気をつけてくださいね。」

と話されました。冗談のように笑いながら話されたディエム神父様でしたが，よくよく考えてみると，子どもたちのまわりには興味を誘うような多くの罠がしかけられているような気もします。あらゆる物や情報が溢れる世の中，その中には子どもたちの成長によいものもあるし，害をもたらすものも多くあります。

子どもたちは，毎日「主の祈り」の最後に，

> ……わたしたちを誘惑に陥らせず，悪からお救いください。アーメン。

と神様に祈っています。わたしたち教師も，子どもたちが悪魔の罠や誘惑にかからないように，正しい価値観をもってよりよく成長することができるように，日々祈りたいと思います。

世界こども助け合いの運動

「世界こども助け合いの運動」は，「子どもたちが子どもたちを助ける」をモットーに1843年にフランスの教会で始められました。一日一度のアヴェ・マリアの祈りと毎月の小さな犠牲によって，自分たちとは異なる環境に置かれた世界中の恵まれない子どもたちに支援の手を差し伸べようというものです。現在では，この運動は全世界に広がり，カトリック教会のみならず，カトリック系の学校，幼稚園，保育園などの児童生徒や園児からも支持されるようになってきました。もちろん，保護者の温かい理解のもとに行われているものです。

南山小学校でも，毎年，お正月にもらったお年玉やお小遣いの中から自分たちにできる範囲で献金の協力をしています。今年度集められた南山小学校の献金の総額は１２０,８５４円でした。

昨年のユネスコの報告によると，自然災害や局地紛争が続く今日の世界のなかで，学校に行けない子どもは約6,100万人，文字の読み書きができない人は7億5,000万人いると伝えられています。これは実に15歳以上の6人に1人の割合に当たります。厳しい環境のなかで生きる子どものために祈り活動することは，強くて優しい子どもの心を育てることにつながります。世界中で多くの子どもたちが厳しい状況に置かれていることは本当に辛く悲しいことですが，それは，どこか遠くで起こっている問題ではなく，幸せに暮らしているわたしたち一人ひとりに問いかけられている現実なのだということを南山の子どもたちにも感じてもらいたいと思います。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

２年２組　担任　松永麻里子 先生

２年２組のクラスのモットーは，「た・す・け・あ・い」です。

た － 大切にしよう友だちを
す － すなおな心で
け － けんかをしても，すぐなかなおり
あ － あいさつ・へんじ，元気よく
い － いつもキラキラ２年生

困っている人がいると進んで声をかけ，一緒に解決しようとする子が多く，とてもやさしくて穏やかな雰囲気のクラスです。この１年間，学級目標通りに心も行いも成長してきました。

寒い中，１２月の持久走や１月のなわとびの練習にもみんなで声をかけ合って元気に取り組みました。特に，なわとび検定では，友だちが合格したときは，自分のことのように喜び，褒め合い，高め合う微笑ましい姿がしばしば見られました。

授業中もよく発表します。特に，２学期からは，ICT機器を使って自分の考えを分かりやすく伝える力も身に付いてきました。

松永先生は，チャレンジすることは成長の大きなチャンスであることを忘れずに，失敗を恐れず，これからも何事にもチャレンジする３年生になって欲しいと願っています。

♪アーメン　ハレルヤ

１．せかいのみんな きょうだいさ
はなすことばが ちがっても
主にむかうこころは
みんなおなじ こどもだから※

２．せかいのみんな ともだちさ
はたらくばしょが ちがうけれど
主にむかう こころで
ひとつになって 分かつちから※

※アーメン ハレルヤ（４回くり返し）